

秋の私学助成運動始動!! 私学フェスティバル・私学のつどいの季節スタート

9月23日(土)札幌で開催された「私学助成パレード」を皮切りに、全国で私学フェスティバル・私学のつどいが開催されています。翌9/30には愛知・オータムフェスの海南地区、奥三河地区、10/1に豊橋地区、豊橋新庄地区、そして10/9には、東北ブロックの岩手と山形で私学フェスティバルが開催されています。私学教育の良さ、私学に学ぶ生徒の躍動する姿、そして私学の無償化を世に訴える季節が到来しました!!

Iwanichi Online 岩手日日新聞社

北上 公開

私学助成増額訴え 県内6高校 北上でフェス ダンスや演奏多彩に

2017年10月11日付



私学フェスティバルで一体感ある踊りを披露する生徒たち

「第43回私学デー・第13回私学フェスティバル2017 in北上」は9日、北上市北鬼柳のアメリカンワールド駐車場で開催された。県内私立高校の生徒たちがダンスやバンド演奏などを繰り広げ、トークや署名活動などで私学助成増額を訴えた。

私立高校のある内陸部各地区持ち回りで開催。専大北上吹奏楽部の演奏でオープニングを飾り、同校や盛岡誠桜、水沢一、一関学院、一関修紅、盛岡スコーレの各校生徒がダンスや一輪車、合唱、ギター、バンド演奏、郷土芸能を披露した。

トークセッションでは、各校生徒代表やゲストらが私学助成をテーマに議論。「公立と私立では助成金の差はどの程度で、なぜ差があるのか」「アルバイトまでして学校に来ている生徒もいる。この現状を知ってほしい」「希望する大学は学費が高過ぎて、諦めざるを得ない。お金がないので行けない。そんな社会でいいのか」と切実な訴えもあり、ゲストからは「学費で公私間格差があるのはおかしい。世論を高めるため、運動を盛り上げるべき」などのアドバイスがあった。

生徒たちは各学校を紹介し、取り組みをアピール。最後に各校生徒が「365日の紙飛行機」
「Happiness」で一体感ある手話やダンスを見せた。

会場では、国と県に私立学校への補助金増額や授業料減免補助拡大などを求める署名活動も展開。佐々木紀葉プロジェクト実行委員長(専大北上3年)は「教育の機会均等へ、負担は公平であるべき。公私間格差解消へできる活動を広げ、多くの方に私学の現状を知ってほしい」と参加した生徒の思いを語った。

2017年10月11日
岩手日日新聞社 Iwanichi Onlineより